

(健II 380)

令和3年11月2日

都道府県医師会

担当理事 殿

日本医師会常任理事

羽鳥 裕

江澤 和彦

(公印省略)

### 障害者総合支援法の対象となる疾病の見直しに関する周知について

今般、障害者総合支援法対象疾病検討会における議論等を踏まえ、令和3年11月1日より同法に基づく障害福祉サービス等の対象となる疾病が361疾病から366疾病となり、厚生労働省より各都道府県等衛生主管部（局）長宛に別添の通知が発出されるとともに、本会に対しても周知方依頼がありましたのでご連絡申し上げます。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、郡市区医師会及び医療機関への周知方につきご高配のほどよろしくお願ひ申し上げます。

なお、障害福祉サービス等の申請に必要となる診断書や障害支援区分の認定に必要となる医師意見書等の作成に際しましては、別添リーフレットにある対象疾病一覧の疾病名を記載いただきますよう、ご留意のほどお願ひ申し上げます。

事務連絡  
令和3年10月25日

公益社団法人 日本医師会 御中

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課

障害者総合支援法の対象となる疾病の見直しに関する周知について

時下、貴会におかれましては益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

また、平素より厚生労働行政の運営に御理解、御協力いただき厚く御礼申し上げます。

今般、障害者総合支援法対象疾病検討会における議論等を踏まえ、障害者総合支援法の対象となる疾病が361疾病から366疾病となり、令和3年11月1日から適用となりました。

障害福祉サービス等の対象となる難病患者が必要なサービスの利用に向けて申請を行っていただくためには、難病患者御本人に対して、身近な医療機関や相談機関に従事する医師や相談員等より、受診や相談の機会を通じて、対象となる疾病や制度について周知いただくことが重要となります。

貴会におかれましては、会員への周知について御協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、医療機関に対する周知については、別添のとおり令和3年10月25日付で各都道府県・政令市・特別区の衛生主管部（局）長宛てに通知しております。

【担当】

厚生労働省障害保健福祉部企画課

課長補佐 矢野（内線3019）

課長補佐 高相（内線3024）

係長 鈴木（内線3029）

TEL 03-5253-1111

障企発 1025 第 2 号  
令和 3 年 10 月 25 日

都道府県  
各指定都市衛生主管部（局）長 殿  
特別区

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課長  
( 公印省略 )

### 障害者総合支援法の対象となる疾病の見直しに関する周知について

厚生労働行政の推進については、日頃より御尽力いただき厚く御礼申し上げます。

今般、障害者総合支援法対象疾病検討会における議論等を踏まえ、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行令第 1 条に基づき厚生労働大臣が定める特殊の疾病の一部を改正する件」（令和 3 年厚生労働省告示第 378 号）が告示されました（別紙参照）。これにより、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」（平成 17 年法律第 123 号）に基づく障害福祉サービス等の対象となる疾病が新たに 6 疾病追加され、告示される疾病が 361 疾病から 366 疾病へと見直し（新たに追加する 6 疾病のうち 1 疾病は現行の対象疾病に統合）が行われ、令和 3 年 11 月 1 日より適用されることとなります。

つきましては、別添のとおり周知用のリーフレットを作成しましたので、適宜ご活用いただき、管内の医療機関等に対し今回の改正の周知方をお願い申し上げます。

また、その際、事務手続を円滑に進め、難病患者等に必要なサービスを速やかに受けていただく観点から、障害福祉サービス等の申請に必要となる診断書や障害支援区分の認定に必要となる医師意見書等の作成に当たっては、別添リーフレットにある対象疾病一覧の疾病名を記載することについて御配慮いただけますよう、併せて、周知方をお願い申し上げます。

なお、障害福祉サービス等の対象となる難病患者が必要なサービスの利用に向けて申請を行っていただくためには、難病患者ご本人に対して、身近な医療機関や相談機関に従事する医師や相談員等より、受診や相談の機会を通じて、対象となる疾病や制度について周知いただくことが重要となります。

そのため、「難病の患者に対する医療等に関する法律」（平成 26 年法律第 69 号）に基づく特定医療費の支給認定を行う都道府県や難病患者等の相談に応じる難病相談支援センター等において、それぞれの業務を通じて難病患者ご本人に対して必要な情報提供を行う等の取組について、特段のご配慮をお願い申し上げます。



令和3年11月1日  
から適用

# 障害者総合支援法の 対象となる難病が 追加されます

- ・家族性低βリポタンパク血症1（ホモ接合体）
- ・自己免疫性後天性凝固第X因子欠乏症（※）
- ・進行性家族性肝内胆汁うつ滯症
- ・ネフロン癆
- ・脳クリアチン欠乏症候群
- ・ホモシスチン尿症

※自己免疫性後天性凝固第X因子欠乏症は、障害者総合支援法の  
対象疾病（自己免疫性後天性凝固因子欠乏症）に統合

障害福祉サービス等の対象となる難病が、361疾病から366疾病へと  
見直しが行われます。対象となる方は、障害者手帳※をお持ちでなくても、  
必要と認められた支援が受けられます。

※ 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳

対象疾病の一覧は厚生労働省のホームページでご確認いただけます。



## 手続き

- ◆ 対象疾病に罹患していることがわかる証明書（診断書など）を持参し、お住まいの市区町村の担当窓口にサービスの利用を申請してください。
- ◆ 障害支援区分の認定や支給決定などの手続き後、必要と認められたサービスを利用できます。（訓練系・就労系サービス等は障害支援区分の認定を受ける必要はありません）
- ◆ 詳しいサービスの内容や手続き方法については、お住まいの市区町村の担当窓口にお問い合わせください。

令和3年1月1日からの障害者総合支援法の対象疾病一覧（366疾病）

※ 新たに対象となる疾病（6疾病）

△ 表記が変更された疾病（0疾病）

○ 障害者総合支援法独自の対象疾病（29疾病）

番号	疾病名	番号	疾病名
1	アイカルディ症候群	51	家族性低βリポタンパク血症1(木モ接合体) ※
2	アイザックス症候群	52	家族性良性慢性天疱瘡
3	IgA腎症	53	カナバン病
4	IgG4関連疾患	54	化膿性無菌性関節炎・壞疽性膿皮症・アクネ症候群
5	亜急性硬化性全脳炎	55	歌舞伎症候群
6	アジソン病	56	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症
7	アッシャー症候群	57	カルニチン回路異常症
8	アトピー性脊髄炎	58	加齢黄斑変性 ○
9	アペール症候群	59	肝型糖原病
10	アミロイドーシス	60	間質性膀胱炎（ハンナ型）
11	アラジール症候群	61	環状20番染色体症候群
12	アルポート症候群	62	関節リウマチ
13	アレキサンダー病	63	完全大血管転位症
14	アンジェルマン症候群	64	眼皮膚白皮症
15	アントレー・ビクスラー症候群	65	偽性副甲状腺機能低下症
16	イソ吉草酸血症	66	ギャロウェイ・モワト症候群
17	一次性ネフローゼ症候群	67	急性壊死性脳症 ○
18	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	68	急性網膜壞死 ○
19	1p36欠損症候群	69	球脊髓性筋萎縮症
20	遺伝性自己炎症疾患	70	急速進行性糸球体腎炎
21	遺伝性ジストニア	71	強直性脊椎炎
22	遺伝性周期性四肢麻痺	72	巨細胞性動脈炎
23	遺伝性脾炎	73	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）
24	遺伝性鉄芽球性貧血	74	巨大動脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）
25	ウィーバー症候群	75	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症
26	ウィリアムズ症候群	76	巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）
27	ウィルソン病	77	筋萎縮性側索硬化症
28	ウエスト症候群	78	筋型糖原病
29	ウェルナー症候群	79	筋ジストロフィー
30	ウォルフラム症候群	80	クッシング病
31	ウルリッヒ病	81	クリオピリン関連周期熱症候群
32	HTLV-1関連脊髄症	82	クリップベル・トレノナー・ウェーバー症候群
33	ATR-X症候群	83	クルーゾン症候群
34	ADH分泌異常症	84	グルコーストランスポーター1欠損症
35	エーラス・ダンロス症候群	85	グルタル酸血症1型
36	エブスタイン症候群	86	グルタル酸血症2型
37	エブスタイン病	87	クロウ・深瀬症候群
38	エマヌエル症候群	88	クローン病
39	遠位型ミオパシー	89	クロンカイト・カナダ症候群
40	円錐角膜 ○	90	痙攣重積型（二相性）急性脳症
41	黄色靭帯骨化症	91	結節性硬化症
42	黄斑ジストロフィー	92	結節性多発動脈炎
43	大田原症候群	93	血栓性血小板減少性紫斑病
44	オクシピタル・ホーン症候群	94	限局性皮質異形成
45	オスラー病	95	原発性局所多汗症 ○
46	カーニー複合	96	原発性硬化性胆管炎
47	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	97	原発性高脂血症
48	潰瘍性大腸炎	98	原発性側索硬化症
49	下垂体前葉機能低下症	99	原発性胆汁性胆管炎
50	家族性地中海熱	100	原発性免疫不全症候群

令和3年1月1日からの障害者総合支援法の対象疾病一覧（366疾病）

※ 新たに対象となる疾病（6疾病）

△ 表記が変更された疾病（0疾病）

○ 障害者総合支援法独自の対象疾病（29疾病）

番号	疾病名		番号	疾病名
101	顕微鏡的大腸炎	○	151	重症筋無力症
102	顕微鏡的多発血管炎		152	修正大血管転位症
103	高IgD症候群		153	ジュベール症候群関連疾患
104	好酸球性消化管疾患		154	シュワルツ・ヤンペルレ症候群
105	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症		155	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症
106	好酸球性副鼻腔炎		156	神経細胞移動異常症
107	抗糸球体基底膜腎炎		157	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症
108	後縦靭帯骨化症		158	神経線維腫症
109	甲状腺ホルモン不応症		159	神経フェリチン症
110	拘束型心筋症		160	神経有棘赤血球症
111	高チロシン血症1型		161	進行性核上性麻痺
112	高チロシン血症2型		162	進行性家族性肝内胆汁うっ滯症 ※
113	高チロシン血症3型		163	進行性骨化性線維異形成症
114	後天性赤芽球病		164	進行性多巣性白質脳症
115	広範脊柱管狭窄症		165	進行性白質脳症
116	膠様滴状角膜ジストロフィー		166	進行性ミオクローヌステンかん
117	抗リン脂質抗体症候群		167	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症
118	コケイン症候群		168	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症
119	コステロ症候群		169	スタージ・ウェーバー症候群
120	骨形成不全症		170	スティーヴンス・ジョンソン症候群
121	骨髄異形成症候群	○	171	スミス・マギニス症候群
122	骨髄線維症	○	172	スモン ○
123	ゴナドトロビン分泌亢進症		173	脆弱X症候群
124	5p欠失症候群		174	脆弱X症候群関連疾患
125	コフィン・シリス症候群		175	成人スチル病
126	コフィン・ローリー症候群		176	成長ホルモン分泌亢進症
127	混合性結合組織病		177	脊髄空洞症
128	鰓耳腎症候群		178	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)
129	再生不良性貧血		179	脊髄髓膜瘤
130	サイトメガロウィルス角膜内皮炎	○	180	脊髄性筋萎縮症
131	再発性多発軟骨炎		181	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症
132	左心低形成症候群		182	前眼部形成異常
133	サルコイドーシス		183	全身性エリテマトーデス
134	三尖弁閉鎖症		184	全身性強皮症
135	三頭酵素欠損症		185	先天異常症候群
136	CFC症候群		186	先天性横隔膜ヘルニア
137	シェーグレン症候群		187	先天性核上性球麻痺
138	色素性乾皮症		188	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症
139	自己貪食空胞性ミオパチー		189	先天性魚鱗癖
140	自己免疫性肝炎		190	先天性筋無力症候群
141	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症(※)	※	191	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症
142	自己免疫性溶血性貧血		192	先天性三尖弁狭窄症
143	四肢形成不全	○	193	先天性腎性尿崩症
144	シトステロール血症		194	先天性赤血球形成異常性貧血
145	シトリン欠損症		195	先天性僧帽弁狭窄症
146	紫斑病性腎炎		196	先天性大脑白質形成不全症
147	脂肪萎縮症		197	先天性肺静脈狭窄症
148	若年性特発性関節炎		198	先天性風疹症候群 ○
149	若年性肺気腫		199	先天性副腎低形成症
150	シャルコー・マリー・トゥース病		200	先天性副腎皮質酵素欠損症

令和3年1月1日からの障害者総合支援法の対象疾病一覧（366疾病）

※ 新たに対象となる疾病（6疾病）

△ 表記が変更された疾病（0疾病）

○ 障害者総合支援法独自の対象疾病（29疾病）

番号	疾病名	番号	疾病名
201	先天性ミオパチー	251	那須・ハコラ病
202	先天性無痛無汗症	252	軟骨無形成症
203	先天性葉酸吸收不全	253	難治頻回部分発作重積型急性脳炎
204	前頭側頭葉変性症	254	22q11.2欠失症候群
205	早期ミオクロニー脳症	255	乳幼児肝巨大血管腫
206	総動脈幹遺残症	256	尿素サイクル異常症
207	総排泄腔遺残	257	ヌーナン症候群
208	総排泄腔外反症	258	ネイルバテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）/LMX1B関連腎症
209	ソトス症候群	259	ネフロン癆
210	ダイアモンド・ブラックファン貧血	260	脳クレアチン欠乏症候群
211	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	261	脳膜黄色腫症
212	大脳皮質基底核変性症	262	脳表ヘモジデリン沈着症
213	大理石骨病	263	膿疱性乾癬
214	ダウント症候群	264	囊胞性線維症
215	高安動脈炎	265	パーキンソン病
216	多系統萎縮症	266	バージャー病
217	タナトフォリック骨異形成症	267	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症
218	多発血管炎性肉芽腫症	268	肺動脈性肺高血圧症
219	多発性硬化症／視神経脊髄炎	269	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）
220	多発性軟骨性外骨腫症	270	肺胞低換気症候群
221	多発性囊胞腎	271	ハッチャンソン・ギルフォード症候群
222	多脾症候群	272	バッド・キアリ症候群
223	タンジール病	273	ハンチントン病
224	単心室症	274	汎発性特発性骨増殖症
225	弾性線維性仮性黄色腫	275	P C D H 19関連症候群
226	短腸症候群	276	非ケトーシス型高グリシン血症
227	胆道閉鎖症	277	肥厚性皮膚骨膜症
228	遲発性内リンパ水腫	278	非ジストロフィー性ミオトニー症候群
229	チャージ症候群	279	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症
230	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	280	肥大型心筋症
231	中毒性表皮壊死症	281	左肺動脈右肺動脈起始症
232	腸管神経節細胞僅少症	282	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症
233	TSH分泌亢進症	283	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症
234	TNF受容体関連周期性症候群	284	ビッカースタッフ脳幹脳炎
235	低ホスファターゼ症	285	非典型溶血性尿毒症症候群
236	天疱瘡	286	非特異性多発性小腸潰瘍症
237	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	287	皮膚筋炎／多発性筋炎
238	特発性拡張型心筋症	288	びまん性汎細気管支炎
239	特発性間質性肺炎	289	肥満低換気症候群
240	特発性基底核石灰化症	290	表皮水疱症
241	特発性血小板減少性紫斑病	291	ヒルシュスブルング病（全結腸型又は小腸型）
242	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	292	VATER症候群
243	特発性後天性全身性無汗症	293	ファイファー症候群
244	特発性大腿骨頭壊死症	294	ファロー四徴症
245	特発性多中心性キャッスルマン病	295	ファンコニ貧血
246	特発性門脈圧亢進症	296	封入体筋炎
247	特発性両側性感音難聴	297	フェニルケトン尿症
248	突発性難聴	298	フォンタン術後症候群
249	ドラベ症候群	299	複合カルボキシラーゼ欠損症
250	中條・西村症候群	300	副甲状腺機能低下症

令和3年11月1日からの障害者総合支援法の対象疾病一覧（366疾病）

※ 新たに対象となる疾病（6疾病）

△ 表記が変更された疾病（0疾病）

○ 障害者総合支援法独自の対象疾病（29疾病）

番号	疾病名		番号	疾病名	
301	副腎白質ジストロフィー		351	ランゲルハンス細胞組織球症	○
302	副腎皮質刺激ホルモン不応症		352	ランドウ・クレフナー症候群	
303	ブラウ症候群		353	リジン尿性蛋白不耐症	
304	プラダー・ウィリ症候群		354	両側性小耳症・外耳道閉鎖症	○
305	ブリオン病		355	両大血管右室起始症	
306	プロピオン酸血症		356	リンパ管腫症/ゴーハム病	
307	PRL分泌亢進症（高プロラクチン血症）		357	リンパ脈管筋腫症	
308	閉塞性細気管支炎		358	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	
309	β-ケトチオラーゼ欠損症		359	ルビンシュタイン・ティビ症候群	
310	ベーチェット病		360	レーベル遺伝性視神経症	
311	ベスレムミオパシー		361	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	
312	ヘパリン起因性血小板減少症	○	362	劣性遺伝形式をとる遺伝性難聴	○
313	ヘモクロマトーシス	○	363	レット症候群	
314	ペリー症候群		364	レノックス・ガストー症候群	
315	ペルーシード角膜辺縁変性症	○	365	ロスマンド・トムソン症候群	
316	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）		366	肋骨異常を伴う先天性側弯症	
317	片側巨脳症				
318	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群				
319	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症				
320	発作性夜間ヘモグロビン尿症				
321	ホモシスチン尿症	※			
322	ポルフィリン症				
323	マリネスコ・シェーグレン症候群				
324	マルファン症候群				
325	慢性炎症性脱髓性多発神経炎／多巣性運動ニューロパシー				
326	慢性血栓塞栓性肺高血圧症				
327	慢性再発性多発性骨髄炎				
328	慢性睥炎	○			
329	慢性特発性偽性腸閉塞症				
330	ミオクロニーア神てんかん				
331	ミオクロニーア脱力発作を伴うてんかん				
332	ミトコンドリア病				
333	無虹彩症				
334	無脾症候群				
335	無βリポタンパク血症				
336	メープルシロップ尿症				
337	メチルグルタコン酸尿症				
338	メチルマロン酸血症				
339	メビウス症候群				
340	メンケス病				
341	網膜色素変性症				
342	もやもや病				
343	モワット・ウイルソン症候群				
344	葉剤性過敏症症候群	○			
345	ヤング・シンプソン症候群				
346	優性遺伝形式をとる遺伝性難聴	○			
347	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん				
348	4p欠失症候群				
349	ライソゾーム病				
350	ラスマッセン脳炎				

（※）新たに対象となる自己免疫性後天性凝固第X因子欠乏症は、対象疾病番号141（自己免疫性後天性凝固因子欠乏症）に統合

## 経過的に対象となっている疾病

- 下表の疾病については、障害者総合支援法の対象外となりましたが、対象外となる前日までにすでに障害福祉サービス等※の支給決定等を受けたことがある方は、引き続き利用可能です。

※障害福祉サービス・相談支援・補装具及び地域生活支援事業  
(障害児の場合は、障害児通所支援と障害児入所支援も含む)

### ① 平成27年1月1日以降に対象外になった疾病

疾病名
劇症肝炎
重症急性胰炎

### ② 平成27年7月1日以降に対象外になった疾病

疾病名	疾病名
肝外門脈閉塞症	視神経症
肝内結石症	神経性過食症
偽性低アルドステロン症	神経性食欲不振症
ギラン・バレ症候群	先天性QT延長症候群
グルココルチコイド抵抗症	TSH受容体異常症
原発性アルドステロン症	特発性血栓症
硬化性萎縮性苔癬	フィツシャー症候群
好酸球性筋膜炎	メニエール病

### ③ 令和元年7月1日以降に対象外になった疾病

疾病名
正常圧水頭症

## 指定難病と障害者総合支援法対象疾病の疾病名の相違

- 難病法に基づく指定難病は、障害者総合支援法の対象疾病に全て含まれておりますが、下表の疾病については、異なる疾病名を用いているためご留意ください。

障害者総合支援法の対象疾病	難病法の指定難病
アミロイドーシス	全身性アミロイドーシス
ADH分泌異常症	下垂体性ADH分泌異常症
関節リウマチ	悪性関節リウマチ
原発性高脂血症	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）
	原発性高カイロミクロン血症
抗リン脂質抗体症候群	原発性抗リン脂質抗体症候群
ゴナドトロピン分泌亢進症	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症
若年性肺気腫	$\alpha$ 1-アンチトリプシン欠乏症
成長ホルモン分泌亢進症	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症
TSH分泌亢進症	下垂体性TSH分泌亢進症
特発性両側性感音難聴	若年発症型両側性感音難聴
膿疱性乾癬	膿疱性乾癬（汎発型）
PRL分泌亢進症（高プロラクチン血症）	下垂体性PRL分泌亢進症

## 疾病名の表記を変更したものの（新旧対照表）

### ① 平成27年1月1日に表記を変更した疾病

【旧】 平成26年12月31日までの疾病名	【新】 平成27年1月1日以降の疾病名
アミロイド症	アミロイドーシス
アレルギー性肉芽腫性血管炎	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症
ウェゲナー肉芽腫症	多発血管炎性肉芽腫症
ADH不適合分泌症候群	ADH分泌異常症
中枢性尿崩症	
結節性動脈周囲炎	結節性多発動脈炎 顕微鏡的多発血管炎
高プロラクチン血症	PRL分泌亢進症（高プロラクチン血症）
ゴナドトロピン分泌過剰症	ゴナドトロピン分泌亢進症
脊髄小脳変性症	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)
先端巨大症	成長ホルモン分泌亢進症
側頭動脈炎	巨細胞性動脈炎
大動脈炎症候群	高安動脈炎
多巣性運動ニューロパシー	慢性炎症性脱髓性多発神経炎／多巣性運動ニューロパシー
慢性炎症性脱髓性多発神経炎	
多発筋炎	皮膚筋炎／多発性筋炎
皮膚筋炎	
多発性硬化症	多発性硬化症／視神経脊髄炎
TSH産生下垂体腺腫	TSH分泌亢進症
特発性大腿骨頭壞死	特発性大腿骨頭壞死症
有棘赤血球舞踏病	神経有棘赤血球症
リソゾーム病	ライソゾーム病
リンパ管筋腫症	リンパ脈管筋腫症
レフェトフ症候群	甲状腺ホルモン不応症

## 疾病名の表記を変更したもの（新旧対照表）

### ② 平成27年7月1日に表記変更した疾病

【旧】 平成27年6月30日までの疾病名	【新】 平成27年7月1日以降の疾病名
難治性ネフローゼ症候群	一次性ネフローゼ症候群
加齢性黄斑変性症	加齢黄斑変性
進行性骨化性線維形成異常症	進行性骨化性線維異形成症
先天性魚鱗癖様紅皮症	先天性魚鱗癖
ビタミンD依存症二型	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症
	副腎白質ジストロフィー
ペルオキシソーム病	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）

### ③ 平成29年4月1日に表記を変更した疾病

【旧】 平成29年3月31日までの疾病名	【新】 平成29年4月1日以降の疾病名
原発性胆汁性肝硬変	原発性胆汁性胆管炎
自己免疫性出血病XⅢ	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症

### ④ 平成30年4月1日に表記を変更した疾病

【旧】 平成30年3月31日までの疾病名	【新】 平成30年4月1日以降の疾病名
有馬症候群	ジュベール症候群関連疾患
全身型若年性特発性関節炎	若年性特発性関節炎
先天性気管狭窄症	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症

### ⑤ 令和元年7月1日に表記を変更した疾病

【旧】 令和元年6月30日までの疾病名	【新】 令和元年7月1日以降の疾病名
強皮症	全身性強皮症